



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

「丘の上の光」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

「・・・私たちは同じ聖書を読み、同じ神に祈りを捧げ、そして敵に対抗する助けを祈っています。・・・私たち双方の祈りは聞き入れられません。・・・神には、ご自身の意図があるからです。・・・われわれは其中で、生ける神を信じるものがつねに考える神の特性から、遠く離れているのはあきらかではないでしょうか?・・・」

1865年3月4日 甚大な犠牲を伴ったアメリカ合衆国の南北戦争を終結し、リンカーン大統領が就任二期目でおこなった演説の一部です。

膨大な死傷者を出し、分断された民衆を前に、リンカーン大統領は自身の就任を祝う、希望の演説というよりは、厳しい自省と結束を促す言葉を述べています。互いのいのちを奪い合うための、南北両者の身勝手な祈りが聞き入れられるはずがないこと、活ける神を信じる者の生き方からは如何に遠い存在であるのか、そして、神様は人の思いや図り事を超えた、ご自身の目的をお持ちであると述べています。その計画の中においては、人として互いに謙虚に、尊敬と慈悲の心で接し、国家の再生のために支え合いながら、全力を尽くすように訴えたのです。

アマダ・ゴーマン(Amanda Gorman, 1998年生)さんは、バイデン米国大統領宣誓式に続いて、国民的イベント「スーパーボール」(アメリカンフットボールの試合)においても、医療者を応援する詩を朗読した、まさに「時の詩人」です。リンカーンの呼びかけから155年の時を経て、彼女は宣誓式の詩の中で、南北戦争の時とは異なった暗闇の中にある現代にも、小さな光が与えられていること、一人ひとりがその光になることができると希望を掲げたのです。

「解き放つことによって新しい光は昇っていく。光はつねにそこにあるのだから。わたしたちにそれを見る勇気があれば、否、光そのものになる勇気さえあれば。」と呼びかけました。詩のタイトルとなった「私たちの昇る丘:The hill we climb」は、旧約聖書 ミカ書4章「さあ、われわれは主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。」から導かれました。「That is the promised glade, the hill we climb, if only we dare.」ここでも「光」と同様に、「約束された光あふれる地:promised glade」は、私たちが「恐れずに:dare」登るならば、辿り着ける丘、約束の地であると表現されました。



分断された国家や民族、あらゆる社会に潜む格差と差別からくる痛み、悲しみや苦しみを癒すには、一人ひとりが勇気をもって約束された丘に登り、「丘の上の光」(マタイによる福音書5章14節)として、謙虚と寛容、尊敬と慈悲の光を以って、世を照らす必要があると痛感します。私たち一人ひとりの光は小さくとも、神さまは『・・・わたしの灯を輝かし、・・・わたしの闇を照らしてください』(詩編18編29節)います。



校内行事報告

学習発表会

今年度の学習発表会はコロナ禍により、新しい試みで実施しました。メディアセンターの方々のご協力のもと、保護者の皆様にはご家庭でオンラインライブ配信をご覧いただきました。緊張感の中にも、児童は例年通り、学びと練習の成果を存分に発揮してくれました。保護者の方のもとより、海外在住のご家族もご覧になることができ、大変喜ばれました。プログラムの合間には、ホームページや関連機関の紹介動画が流れ、コロナ禍対応の新しい形ができました。学校にとっても学びの多い学習発表会となりました。



防犯訓練

構内には、複数個所に防犯カメラが設置され、正門や東門は常時施錠されていますが、万が一に備え、年に一度、防犯訓練を実施しています。全校児童と教職員が、児童の誘導、退避場所、教職員の動きを確認しました。訓練後は校長先生から訓練の大切さと、非常時の行動について話を伺い、1、2年生は熱心に耳を傾けました。



卒業生を送る会



5年生が企画・実施する「卒業生を送る会」です。今年度は密にならないように学年を分け、またzoomも活用しました。5年生は、お世話になった6年生のために、2月下旬から飾りつけの準備、6年生へのインタビュー、プログラムの組み立てとシナリオ作り、教職員のメッセージカードの手配など、一人ひとりが役割を担い、一生懸命に取り組んでくれました。6年生は勿論のこと、みんなが楽しい・うれしいと思うプログラムとなり、たくさんの笑顔であふれました。恒例のくす玉も無事に割れ、安堵しました。

卒業祈禱週

2月22日、24日～26日まで、総テーマ「29の光」として、6年生による卒業祈禱週がもたれました。全校児童がチャペルに会することはできませんでしたが、1～5年生は、zoomで証しを聴きました。祈りに応えてくださる神様であること、礼拝、聖書の時間、また学校生活の中で蓄えられた聖句は、様々な困難の中で助けとなり、平安を与えられたことなどを話してくれました。心に刻まれた神様との関係が、これからも一人ひとりの歩みを支える土台となりますように心から願います。



卒業式

3月14日(日)第72回卒業式を挙行了しました。今年も昨年度同様に、参列は卒業生のご家族のみで、短縮した卒業式となりましたが、会衆一同、神様への感謝でいっぱいでした。神様によって集められた29名は、それぞれ異なる学び舎に進みますが、これからも大切な仲間であり、学校はいつでも帰って来られるHOMEです。一人ひとりを神様が豊かに祝福してください、それぞれの場所で周りの人々を温かく照らす光となりますように。またその光の仲間を増やし、束となり、世を照らす大きな光となりますように、祈りのうちに卒業生を送り出しました。



3学期も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、様々な措置を取らざるを得なくなりましたが、多くの皆様のお祈りに支えられ、無事に終えることができました。また、29名の卒業生も神様の祝福のうちに巣立ちました。4月6日まで春休みとなります。また来年度もどうぞよろしくお願いいたします。